

欧州中央銀行(ECB)理事会について

2012年9月10日

9月6日、欧州中央銀行(以下、ECB)は、欧州債務危機対策として、スペイン等の財政不安を抱える国の国債を買い入れる「国債購入プログラム」を決定しました。

《ECBが国債購入プログラムを発表》

国債購入プログラムの概要は以下の通りです。

- ①購入対象は、残存期間が1～3年の国債
- ②購入額の上限なし
- ③ESM(※)への支援要請が条件
- ④財政再建を怠れば購入停止

ECBが同プログラムを発表した背景には、スペイン等の南欧諸国の債務問題が深刻化しており、国債利回りが上昇するなど、市場からの資金調達に不安が出ていたことがあります。

※ESM: 欧州安定メカニズム

《今後の見通し》

今回のECBの発表を受けて、スペイン10年国債金利は6%を下回る水準まで低下しました。しかし、ドイツ国内でESM(欧州安定メカニズム)が認められるかどうかという不確定要素もあり、欧州債務問題に対する不安感を払拭するまでには至っていません。引き続きECB、EUの対応を注視する必要があります。

● 景気

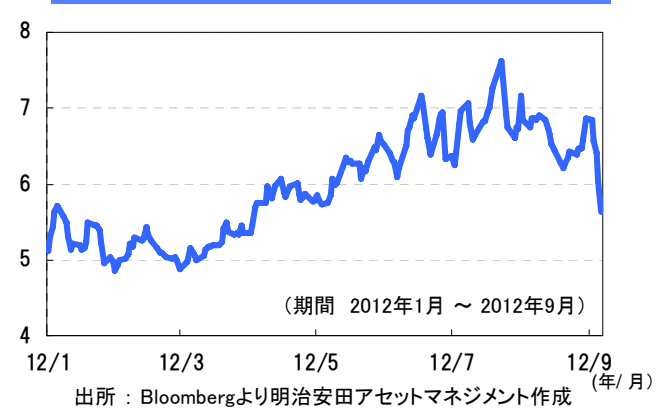
欧州各国は、新興国経済の緩やかな持ち直しやユーロ安による輸出の拡大なども期待できますが、成長戦略が不透明なことや財政再建による景気下押し圧力も残ることから、当面低成長が続くと予想しています。

● 為替

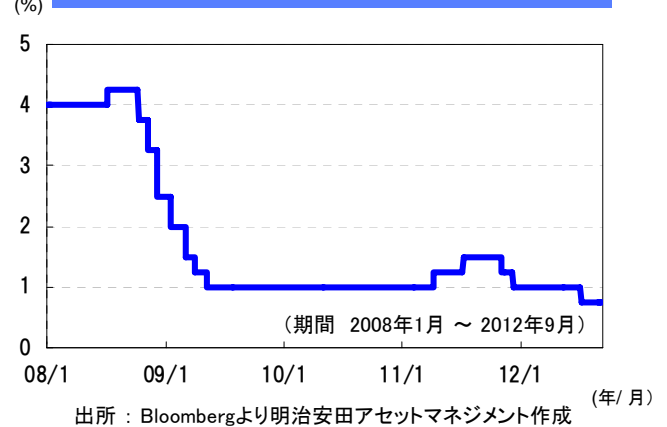
ユーロは7月以降、スペインの財政問題などによる債務懸念が再燃し、一時期は対円で94円台までユーロ安が進行しました。

今回のECBの発表を受け、ユーロは対円で100円前後まで上昇しましたが、欧州債務問題に対する不透明感は依然残っています。ユーロは今後、主要通貨に対して、上値の重い展開が予想されます。

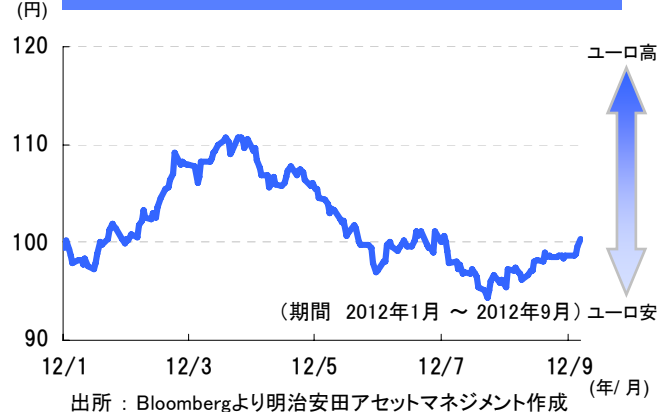
《スペイン10年国債の利回り推移》



《欧州の政策金利》



《ユーロの対円推移》



●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。